

令和7年度自動運転バス実証運行の実施結果について

1 事業概要

(1) 背景と目的

公共交通は、ドライバーの高齢化や人手不足が全国的に深刻化し、サービスの維持が困難な状況となっています。

本市では、将来にわたって地域公共交通の維持・確保を図ることを目的に、自動運転の実装を見据えた取組を進めています。

今年度は、昨年度の実証を踏まえ、車両や運行ルートなどを変更し、公道での「自動運転レベル2」の実証運行を実施し、令和9年度の社会実装に向けて、さらなる検証を行いました。



(2) これまでの取り組み

令和5年9月に、中央公園で開催した「バスの日イベント」で、自動運転車両のデモンストレーション走行を実施しました。

今年1月には、県が進める「しずおか自動運転 ShowCASE プロジェクト」と連携し、「新富士駅～富士駅」と「富士見台地区」の2か所の公道で「自動運転レベル2」の実証運行を実施し、実装に向けた検証を行いました。

試乗した人から、「買い物や病院に行きやすくなる」「実用化されて事故がない世の中になってほしい」などの意見が寄せられました。



JR 新富士駅を出発する自動運転バス



富士見台団地内を走行する自動運転バス

(3) 運行期間

令和7年11月22日（土）～12月12日（金）のうち18日間 ※日曜運休

※運行初日には、新富士駅富士山口において、出発式を開催

※12月5日（金）は、ふじ MaaS 推進協議会会員、12月8日（月）は、富士第一小学校4年生の児童を対象とした貸切運行を実施

(3) 運行箇所

新富士駅～富士駅ルート（新富士駅富士山口から富士駅北口を結ぶ片道約 2km）



(4) 運行事業者

A-Drive 株式会社



「アイサンテクノロジー株式会社」と「三菱商事株式会社」の共同出資により自動運転時代の到来を見据えた自動運転ワンストップサービス提供に係わる事業を共同して行い、自動運転関連ビジネスの市場ポテンシャル及び事業性を検証する新会社（2023 年 2 月 7 日設立）

(5) 運行体制

富士急静岡バス株式会社の運転士が講習を受け、実証運行期間中の自動運転バスの運転士として従事

(6) 運行車両

株式会社ティアフォー製小型バス「Minibus2.0」

最高速度 70km/h（自動運転時は最高速度 35km/h で走行）

車両定員 28 名（座席 15 席、立席 12 席、運転席 1 席）

※実証運行時の乗客定員は着座 13 名

（着座の 2 名分は運営スタッフ用として使用）



(7) 乗車人数（速報値）

延べ 1,326 人（ふじ MaaS 推進協議会会員 22 人と富士第一小学校 4 年生の 104 人の貸切運行は除く）

2 実施状況

今年度は、運行初日となる 11 月 22 日（土）に、新富士駅富士山口駅前広場において、出発式を開催し、富士市長をはじめ、衆議院議員の細野代議士や静岡運輸支局長、静岡県交通基盤部長などから祝辞をいただきました。

また、テープカットや実証運行期間中に運転士として従事するドライバーに花束贈呈を行うなど、実証運行期間中の安全運行を祈念しました。



小長井市長挨拶



衆議院議員細野代議士挨拶



テープカット



来賓向け試乗会

昨年度に「しずおか自動運転 ShowCASE プロジェクト」として静岡県が実施した、新富士駅・富士駅間における実証運行からは、「運行ルート」や「車両」、「運行期間」を変更しての実証運行となりましたが、週末の土曜日の乗車予約は早期に埋まるなど、多くの市民の皆さまに自動運転バスに乗車していただくとともに、自動運転の技術について知ってもらう良い機会となり、昨年度に引き続き、社会受容性の醸成を図ることができました。

また、実証運行期間中は天候にも恵まれ、1 日あたりの交通量が 2 万台超える県道富士停車場線を走行ルートとしていましたが、トラブルもなく無事に実証運行を終えることができました。乗車した方は、自動運転バスに非常に興味を示していただき、自動運転の仕組み等についての専門的な質問には、アイサンテクノロジー(株)のスタッフが丁寧に説明しました。

乗車後アンケートの中には、「とても静かで安心して乗車ができました」、「実装されるのが待ち遠しいです」、「富士駅と新富士駅の間の定時での運行が実現すれば大変便利になると思います」などの前向きなご意見を多くいただきました。

自動運転バス（車両）



車体外観



車体側面



車体カメラ、センサー



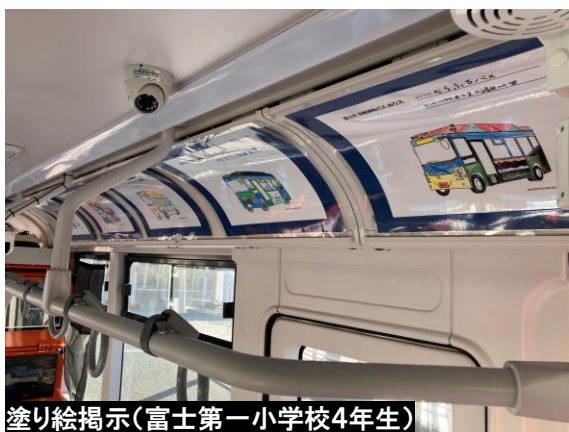
車体後部



運転席



車内案内モニター



塗り絵掲示(富士第一小学校4年生)



モニター画面拡大

自動運転バス（走行風景）



新富士駅富士山口で待機



新富士駅富士山口を出発



乗車後にスタッフに質問する乗客



県道富士停車場線を右折



市道田子浦伝法線を走行



蓼原大橋を北進



蓼原大橋を南進



新富士駅富士山口駅前広場に進入

自動運転バス（走行風景）



富士駅北口で待機



富士駅北口を出発



富士駅北口駅前広場を走行



車内で打合せする運転士とスタッフ



県道富士停車場伝法線を走行



県道富士停車場線を南進



新富士駅富士山口駅前広場前を走行



富士駅北口駅前広場前を走行

ふじ MaaS 推進協議会「自動運転バス試乗会」(12/5 開催)



富士市の自動運転の取組について



A-Drive(株)による車両紹介



車両の説明に耳を傾ける会員



自動運転バスに乗り込む会員

富士第一小学校 4 年生「自動運転バス貸切運行」(12/8 開催)



自動運転バスに乗り込む児童



自動運転バスに乗車した児童



自動運転バスを見学する児童



別のグループが乗車したバスを見送る児童

＜参考＞令和 6 年度と令和 7 年度実証運行の概要

年度	令和 6 年度	令和 7 年度
運行期間	令和 7 年 1 月 15 日（水）～21 日（火）	令和 7 年 11 月 22 日（土） ～12 月 12 日（金）※日曜運休
運行日数	7 日間	18 日間
運行場所	<p>新富士駅～富士駅ルート（静岡県事業）</p>  <p>※「しずおか自動運転 ShowCASE プロジェクト」として実施</p> <p>富士見台ルート（富士市事業）</p>	<p>新富士駅～富士駅ルート（富士市事業）</p>  <p>※新富士駅富士山口と富士駅北口を結ぶルートで実施</p>
便数	6 便／日（10 時台～15 時台）	
運賃等	無料・事前予約制	
乗客定員	6 名	13 名
乗車人数	延べ 723 人	延べ 1,326 人（速報値）
自動運転 レベル	<p>レベル 2</p> <p>（運転席から常時監視し、緊急時には手動介入をして運転士が運転する）</p>	
運転士	富士急静岡バス株の運転士が講習を受け、運転士として従事	
使用車両	 <p>株式会社トヨタモーターズ社製（EV 車両） グリーンスローモビリティ「NAO-8J」 車両定員 8 名</p>	 <p>株式会社ティアフォー社製（EV 車両） 小型バス「Minibus2.0」 車両定員 28 名</p>
遠隔監視 コントロールセンター	市役所 2 階市民ホールに設置	富士急静岡バス株鷹岡営業所にて 試験的に実施（12/11-12）
運行事業者	 <p>東急</p> <p>東急株式会社</p>	 <p>A-Drive 株式会社</p>